第39回　景気動向レポート

2021年7～9月期

○概要

調査時期 令和３年９月上旬
調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、伊勢原市、秦野市、座間市、海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡
全調査先 当金庫取引先　３１９先
回答先数 当金庫取引先　３１５先
（内訳）　製造業：６３先
卸売業：１８先
小売業：４６先
サービス業：７４先
建設業：８４先
不動産業：３０先
回答率　９８．７％

○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、調査先による直接記入・回収方式

○分析方法

ＤＩ（Diffusion Index）

ＤＩとは、各質問項目に対して「良い（増加・上昇）」と回答された企業の割合から「悪い（減少・下降）」と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。

ＤＩがプラスであれば上向き、０であれば現状維持、マイナスであれば下向きというように判断できます。

業況ＤＩの推移（業種別ＤＩ天気図）

	2020年 7-9月期	2020年 10-12月期	2021年 1-3月期	2021年 4-6月期（前期）	2021年 7-9月期（当期）	2021年 10-12月期（予想）
製造業	↗	↗	↗	↗	↗	↗
卸売業	↗	↗	↘	↗	↗	↗
小売業	↗	↗	↗	↗	↘	↗
サービス業	↗	↗	↘	↗	↘	↘
建設業	↗	↗	↘	↘	↗	↘
不動産業	↗	↗	↗	↘	↘	↘
全業種	↗	↗	↘	↗	↗	↗

TRIbank Hiratsuka
平塚信用金庫

全業種

今期：業況ＤＩは改善、売上・収益ＤＩは悪化
来期：売上・収益・業況ＤＩ共に改善の見込み

2021年7～9月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比＋1.8ﾎﾟｲﾝﾄの▲12.1と2期連続の改善。製造業・卸売業・建設業は改善、小売業・サービス業・不動産業は悪化となりました。

売上DIについては、対前期比▲1.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲8.9となり、収益DIは対前期比▲1.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲11.2となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比＋1.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲1.6と上昇、仕入・原材料・材料価格DIについては対前期比＋5.4ﾎﾟｲﾝﾄの34.2となり5期連続の上昇となりました。資金繰りDIについては、対前期比▲0.9ﾎﾟｲﾝﾄの▲4.4、人手DIは対前期比▲2.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲18.4となりました。

来期（2021年10～12月期）の業況予想では、製造業・卸売業・小売業で改善、サービス業・建設業・不動産業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比＋0.6ﾎﾟｲﾝﾄの▲11.5と改善を見込んでいます。

主要ＤＩ構成

○業況ＤＩ

当期 → 予想

業況DIは、対前期比＋1.8ﾎﾟｲﾝﾄの▲12.1(前年同期▲31.1・前回予想との差＋3.5)となりました。製造業・卸売業・建設業は改善、小売業・サービス業・不動産業で悪化となり、業況DIは2期連続の改善となりました。今後の業況DIは、対当期比＋0.6ﾎﾟｲﾝﾄの▲11.5と改善を見込んでいます。

○売上ＤＩ

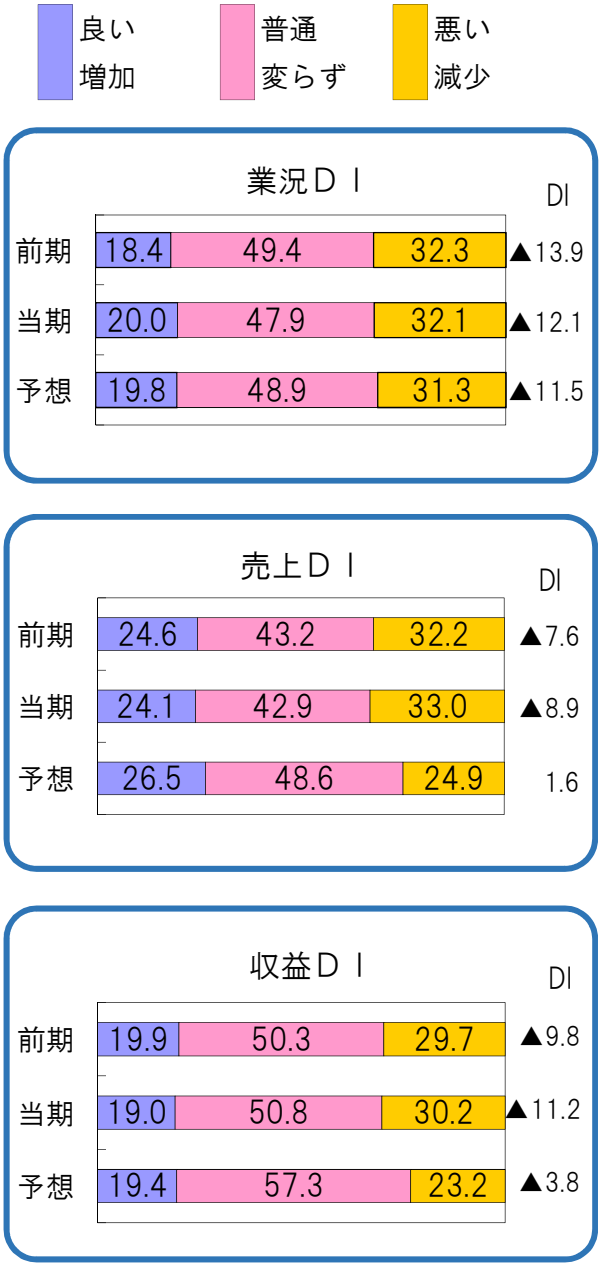
当期 → 予想

売上DIは、対前期比▲1.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲8.9（前年同期▲14.2・前回予想との差▲5.4)となりました。製造業・卸売業・建設業は改善、小売業・サービス業・不動産業で悪化となり、売上DIは悪化となりました。今後の売上DIは、対当期比＋10.5ﾎﾟｲﾝﾄの1.6と大幅な改善を見込んでいます。

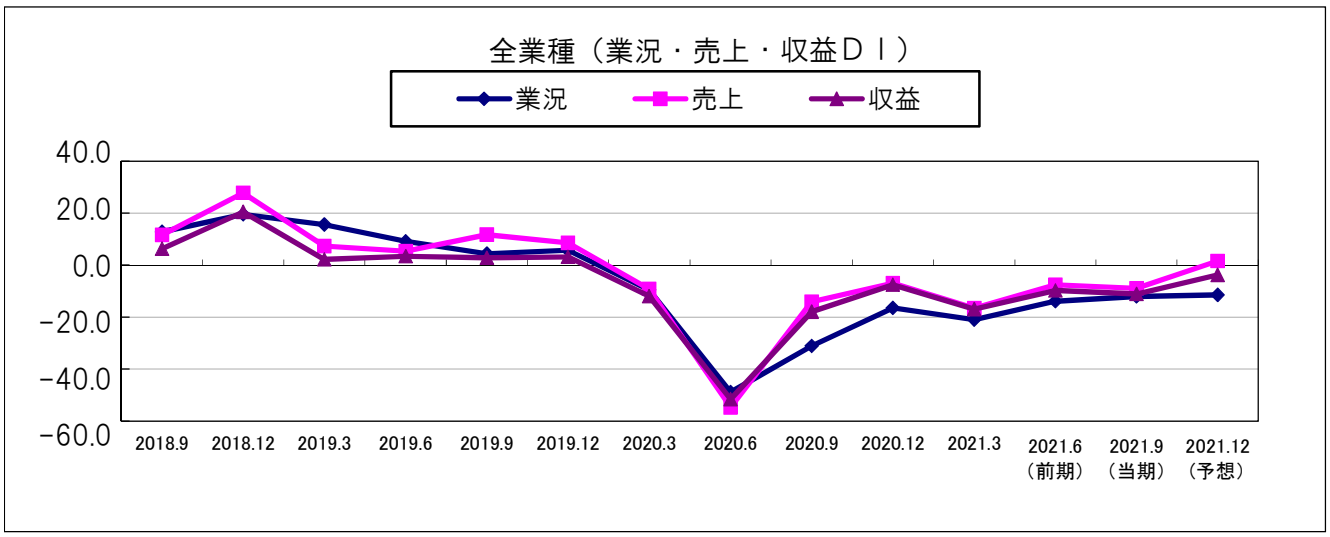
○収益ＤＩ

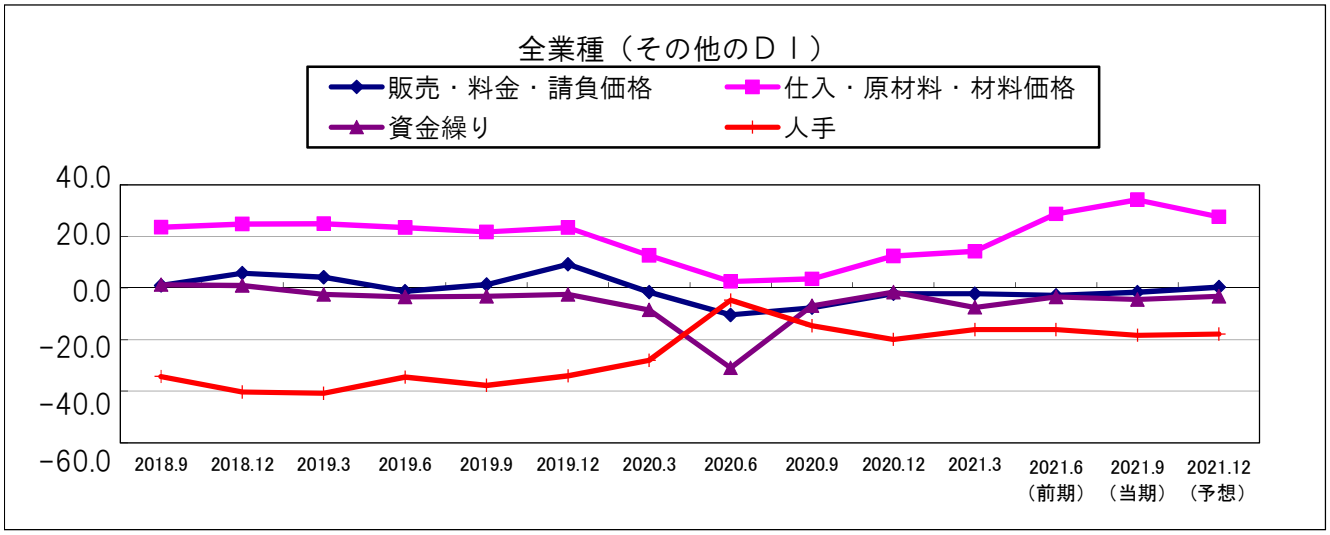
当期 → 予想

収益DIは、対前期比▲1.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲11.2(前年同期▲17.9・前回予想との差▲7.3）となりました。製造業・卸売業・建設業は改善、小売業・サービス業・不動産業で悪化となり、収益DIは悪化となりました。今後の収益DIは、対当期比＋7.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲3.8と改善を見込んでいます。



ＤＩの推移





経営サポートセンターNEWS

経営者・創業希望者の皆様へ
課題解決のサポートをさせていただきます！！

経営サポートセンター
リレーションマネージャー

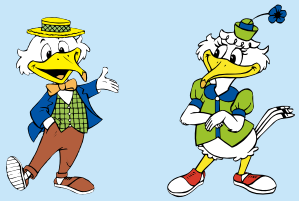
◎主なサポートメニュー

創業支援	創業に必要な資金のご提供、事業計画立案のご支援、開業資金のご相談　など
販路拡大	商談会の企画・出展に関するサポート、ホームページ改善のご提案、ビジネスマッチング　など
海外展開	市場・商慣習に関する情報のご提供、海外展開の諸手続きに関するご支援、海外展開資金のご相談　など
事業承継	事業承継対策に関するご支援、貴社の自社株評価（概算）、事業承継に関わる資金のご相談　など
M＆A	M＆A情報のご提供、M＆A手続・仲介のご支援、M＆A資金のご相談　など
補助金等	各種施策・補助金情報のご提供、補助金申請手続きのご支援　など

◎課題解決に関するお問い合わせは

〒254-0043 平塚市紅谷町11-19
平塚信用金庫 営業統括部 経営サポートセンター
TEL： 0463-24-3031

TRIbank Hiratsuka
平塚信用金庫

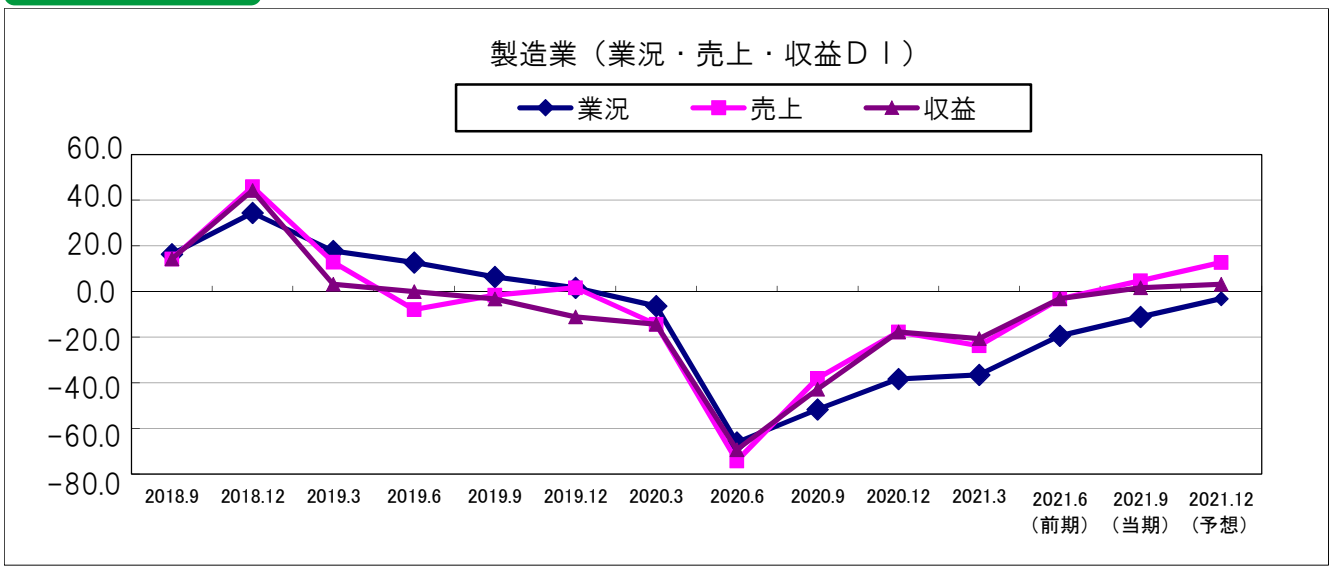


経営サポートセンターでは、多くの専門家や外部機関と連携して、お客さまの課題解決に取組んでいます。
お困りごとは、是非ひらしんまで。お客さまと共に課題解決のサポートをさせていただきます！

製造業

今期：業況・売上・収益ＤＩ共に改善
来期：業況・売上・収益ＤＩ共に改善の見込み

主要ＤＩ推移



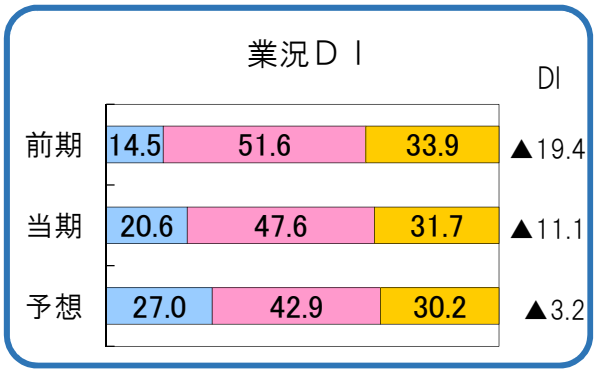
良い 増加　普通 変らず　悪い 減少

主要ＤＩ構成

○業況ＤＩ

当期 → 予想

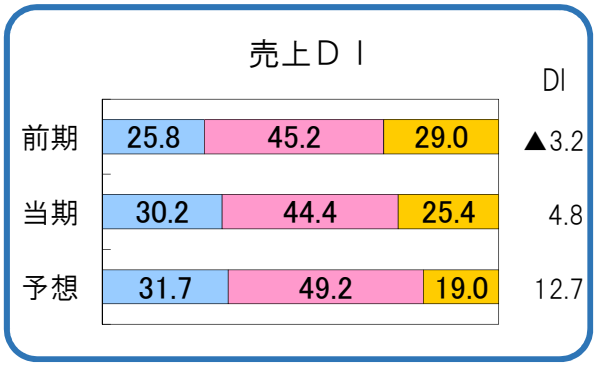
業況DIは、対前期比＋8.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲11.1(前年同期▲51.6・前回予想との差▲4.6）と5期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比＋7.9ﾎﾟｲﾝﾄの▲3.2と改善を見込んでいます。



○売上ＤＩ

当期 → 予想

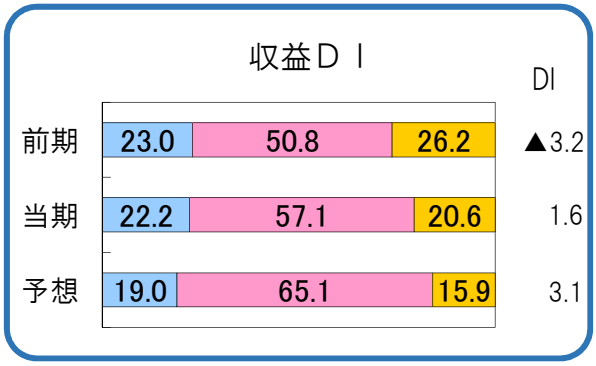
売上DIは、対前期比＋8.0ﾎﾟｲﾝﾄの4.8（前年同期▲38.1・前回予想との差▲5.0)と2期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比＋7.9ﾎﾟｲﾝﾄの12.7と改善を見込んでいます。



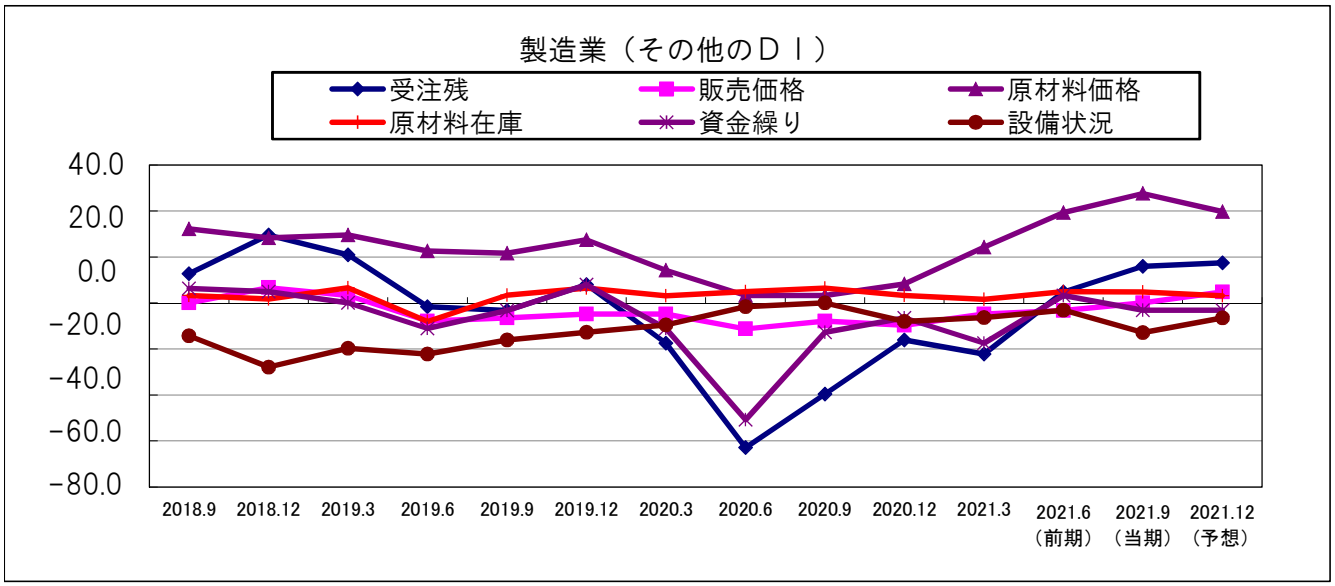
○収益ＤＩ

当期 → 予想

収益DIは、対前期比＋4.8ﾎﾟｲﾝﾄの1.6(前年同期▲42.9・前回予想との差▲13.1）と2期連続の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比＋1.5ﾎﾟｲﾝﾄの3.1と改善を見込んでいます。



その他のＤＩ推移

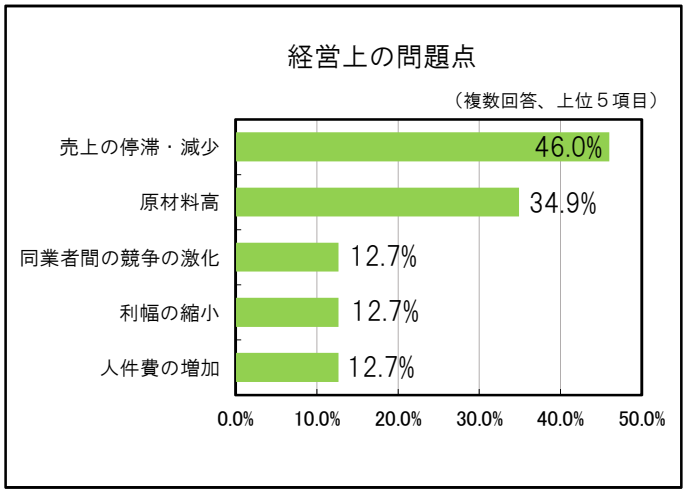


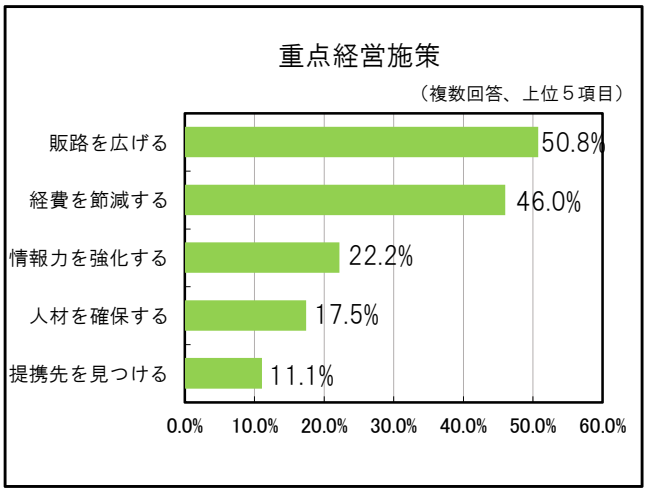
○その他のＤＩ

対前期比でみると、受注残DIは＋11.1ﾎﾟｲﾝﾄの15.9、販売価格DIは＋3.3ﾎﾟｲﾝﾄの0.0、原材料価格DIは＋8.3ﾎﾟｲﾝﾄの47.6、原材料在庫DIは▲0.1ﾎﾟｲﾝﾄの4.8、資金繰りDIは▲6.5ﾎﾟｲﾝﾄの▲3.2、設備状況DIは▲9.7ﾎﾟｲﾝﾄの▲12.9となりました。

今後は、受注残DI・販売価格DI・設備状況DIは上昇、資金繰りDIは横這い、原材料価格DI・原材料在庫DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策





【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が46.0%と最も多く、次いで「原材料高」が34.9%、「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」「人件費の増加」が共に12.7%となりました。

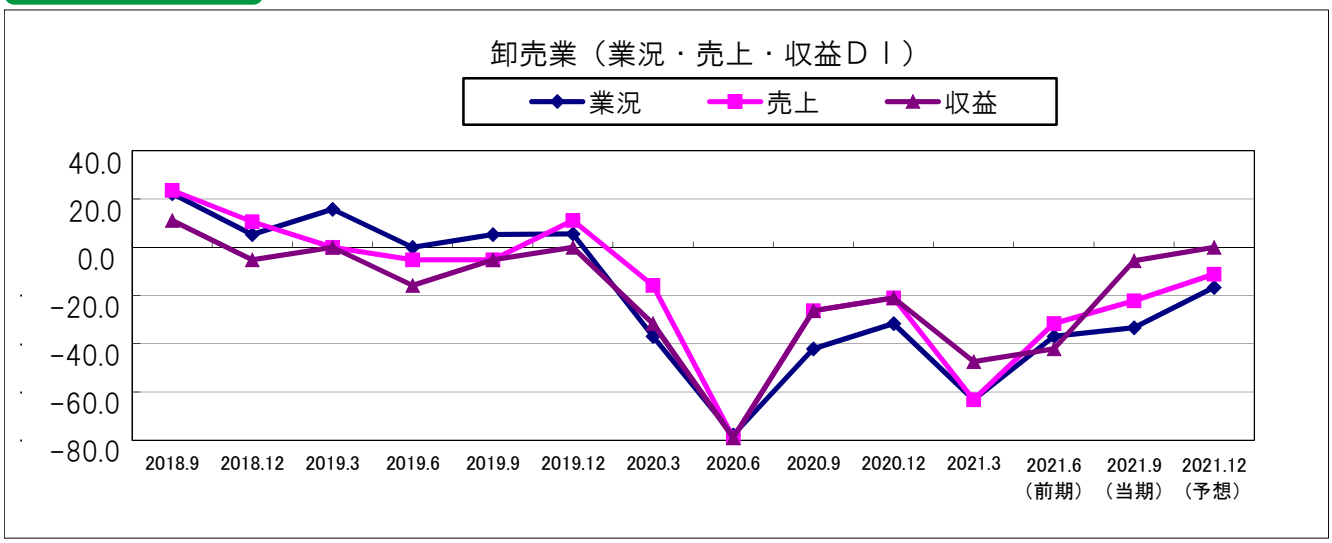
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が50.8%と最も多く、次いで「経費を節減する」46.0%、「情報力を強化する」22.2%、「人材を確保する」17.5%、「提携先を見つける」11.1%となりました。

卸売業

今期：業況・売上・収益ＤＩ共に改善
来期：業況・売上・収益ＤＩ共に改善の見込み

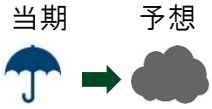
主要ＤＩ推移



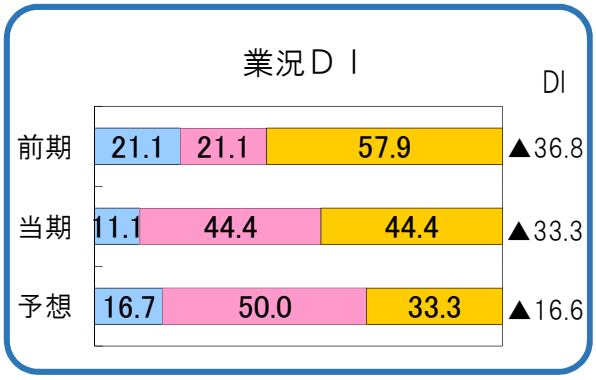
良い 増加　普通 変らず　悪い 減少

主要ＤＩ構成

○業況ＤＩ

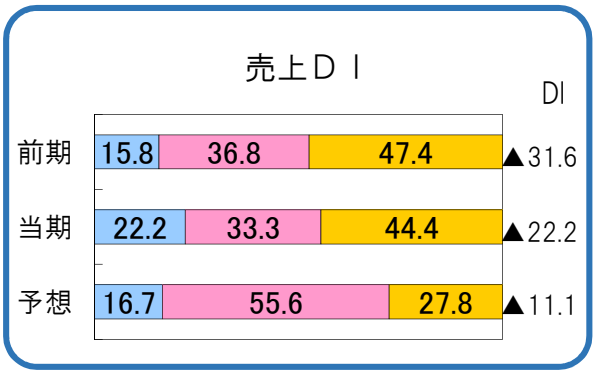


業況DIは、対前期比＋3.5ﾎﾟｲﾝﾄの▲33.3(前年同期▲42.1・前回予想との差＋19.3)と2期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比＋16.7ﾎﾟｲﾝﾄの▲16.6と大幅な改善を見込んでいます。



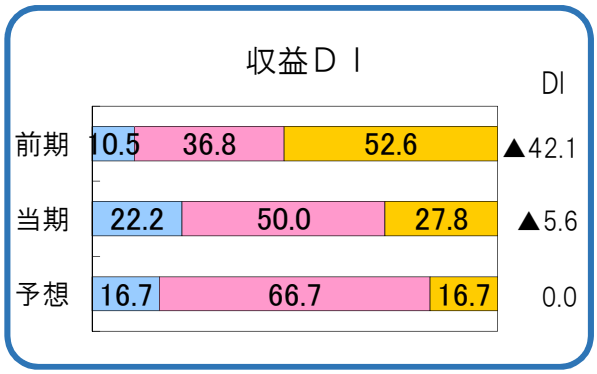
○売上ＤＩ

売上DIは、対前期比＋9.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲22.2(前年同期▲26.3・前回予想との差▲11.7)と2期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比＋11.1ﾎﾟｲﾝﾄの▲11.1と大幅な改善を見込んでいます。

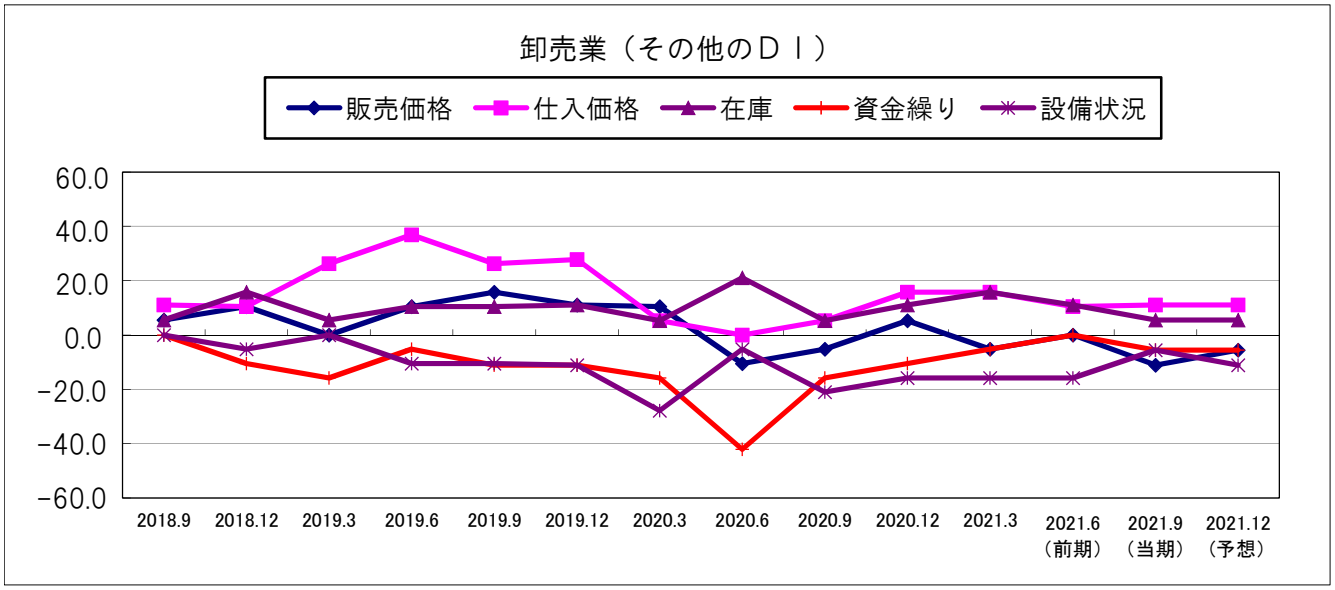


○収益ＤＩ

収益DIは、対前期比＋36.5ﾎﾟｲﾝﾄの▲5.6(前年同期▲26.3・前回予想との差＋4.9）と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比＋5.6ﾎﾟｲﾝﾄの0.0と改善を見込んでいます。



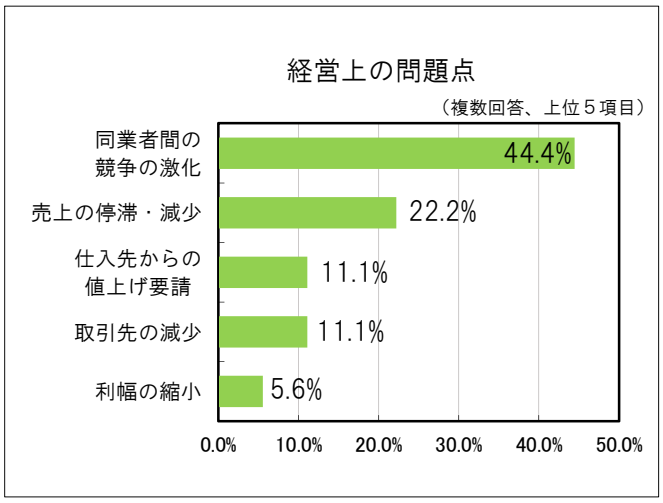
その他のＤＩ推移

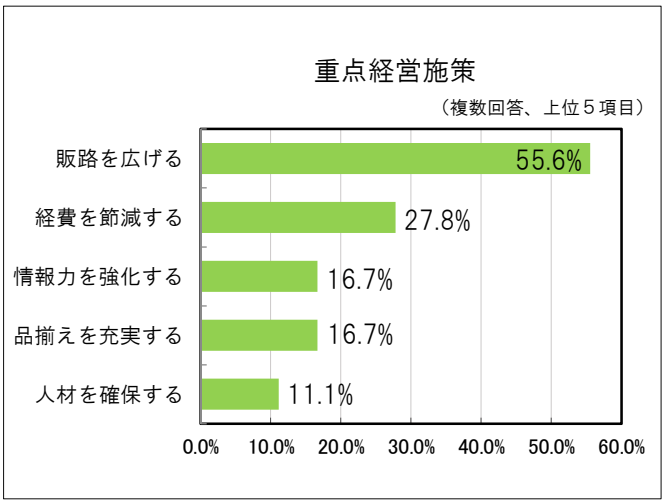


○その他のＤＩ

対前期比でみると、販売価格DIは▲11.1ﾎﾟｲﾝﾄの▲11.1、仕入価格DIは＋0.6ﾎﾟｲﾝﾄの11.1、在庫DIは▲5.5ﾎﾟｲﾝﾄの5.6、資金繰りDIは▲5.6ﾎﾟｲﾝﾄの▲5.6、設備状況DIは＋10.2ﾎﾟｲﾝﾄの▲5.6となりました。今後は、販売価格DIは上昇、仕入価格DI・在庫DI・資金繰りDIは横這い、設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策





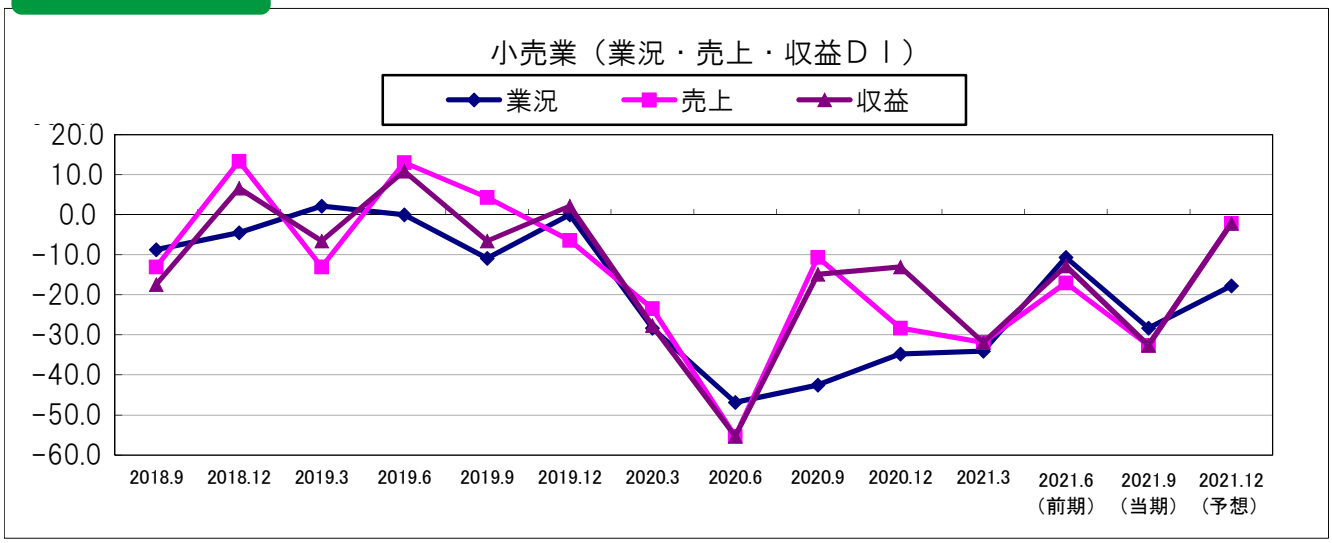
【経営課題】
経営上の問題点として挙げられたのは「同業者間の競争の激化」が44.4%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」22.2%、「仕入先からの値下げ要請」「取引先の減少」が共に11.1%、「利幅の縮小」が5.6%となりました。

【重点施策】
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が55.6%と最も多く、次いで「経費を節減する」27.8%、「情報力を強化する」「品揃えを充実する」が共に16.7%、「人材を確保する」11.1%となりました。

小 売 業

今期：業況・売上・収益ＤＩ共に悪化
来期：業況・売上・収益ＤＩ共に改善の見込み

主要ＤＩ推移



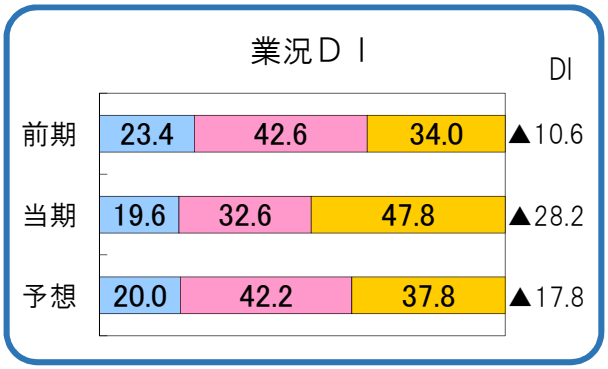
主要ＤＩ構成

良い 増加　普通 変らず　悪い 減少

○業況ＤＩ

当期 → 予想

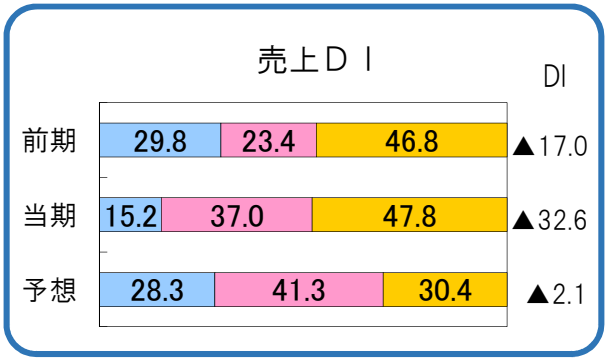
業況DIは、対前期比▲17.6ﾎﾟｲﾝﾄの▲28.2(前年同期▲42.5・前回予想との差▲17.6)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比＋10.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲17.8と大幅な改善を見込んでいます。



○売上ＤＩ

当期 → 予想

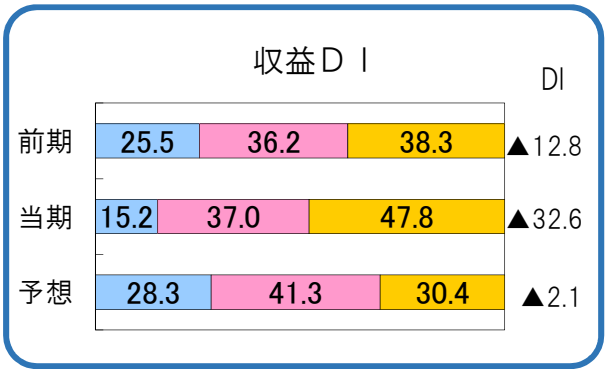
売上DIは、対前期比▲15.6ﾎﾟｲﾝﾄの▲32.6(前年同期▲10.6・前回予想との差▲28.2)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比＋30.5ﾎﾟｲﾝﾄの▲2.1と大幅な改善を見込んでいます。



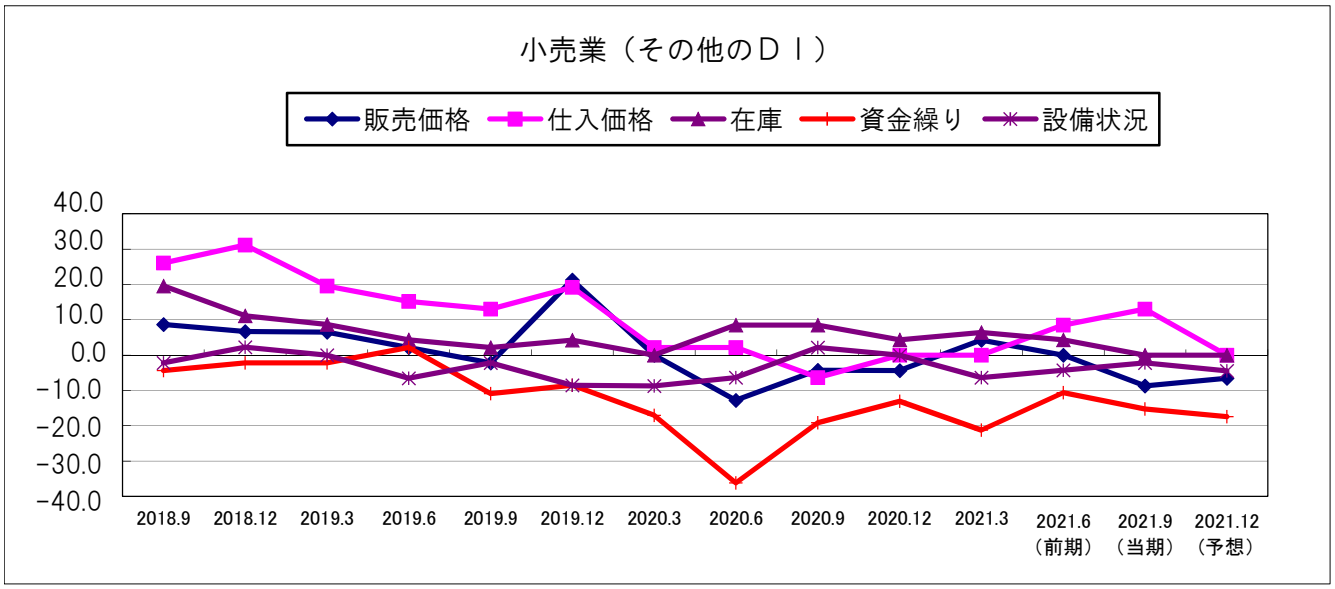
○収益ＤＩ

当期 → 予想

収益DIは、対前期比▲19.8ﾎﾟｲﾝﾄの▲32.6(前年同期▲14.9・前回予想との差▲32.6)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比＋30.5ﾎﾟｲﾝﾄの▲2.1と大幅な改善を見込んでいます。



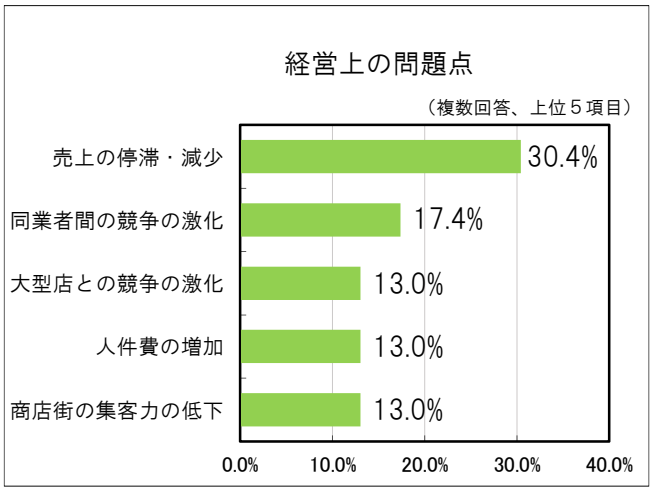
その他のＤＩ推移

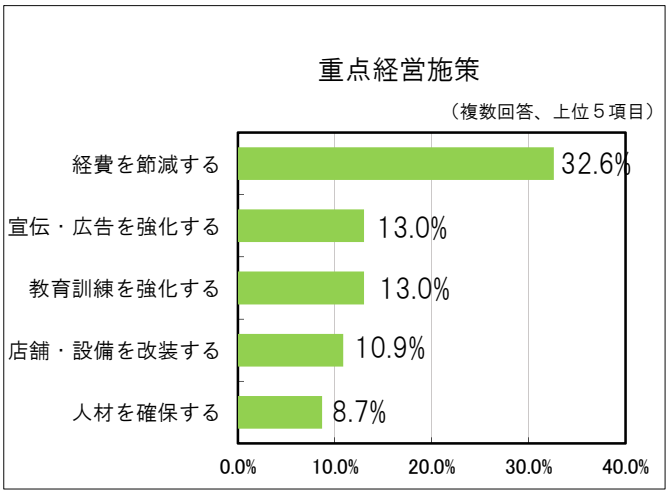


○その他のＤＩ

対前期比でみると、販売価格DIは▲8.7ﾎﾟｲﾝﾄの▲8.7、仕入価格DIは＋4.5ﾎﾟｲﾝﾄの13.0、在庫DIは▲4.3ﾎﾟｲﾝﾄの0.0、資金繰りDIは▲4.6ﾎﾟｲﾝﾄの▲15.2、設備状況DIは＋2.1ﾎﾟｲﾝﾄの▲2.2となりました。今後は、販売価格DIは上昇、在庫DIは横這い、仕入価格DI・資金繰りDI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策





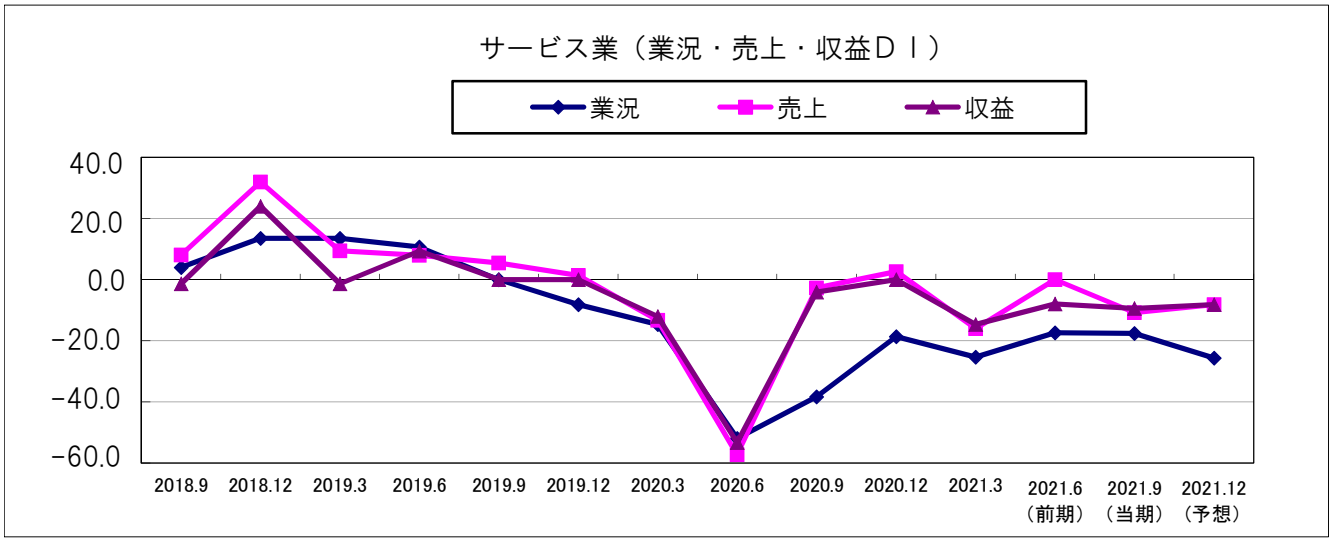
【経営課題】
経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が30.4%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」17.4%、「大型店との競争の激化」「人件費の増加」「商店街の集客力の低下」が共に13.0%となりました。

【重点施策】
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が32.6%と最も多く、次いで「宣伝・広告を強化する」「教育訓練を強化する」が共に13.0%、「店舗・設備を改装する」10.9%、「人材を確保する」が8.7%となりました。

サービス業

今期：業況・売上・収益ＤＩ共に悪化
来期：売上・収益ＤＩは改善、業況ＤＩは悪化の見込み

主要ＤＩ推移

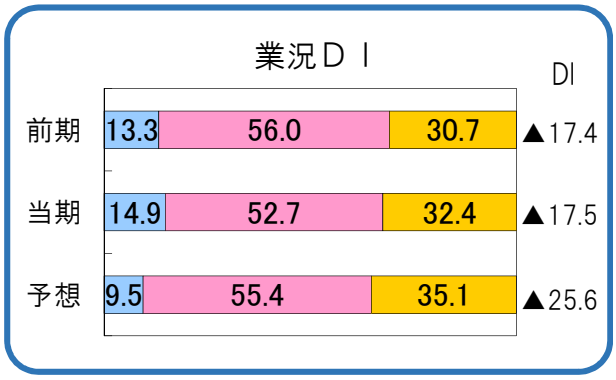


良い 増加　普通 変らず　悪い 減少

主要ＤＩ構成

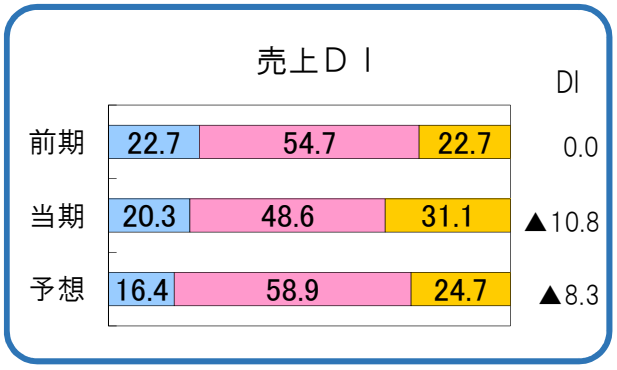
○業況ＤＩ

業況DIは、対前期比▲0.1ﾎﾟｲﾝﾄの▲17.5(前年同期▲38.4・前回予想との差＋2.5）の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲8.1ﾎﾟｲﾝﾄの▲25.6と悪化を見込んでいます。



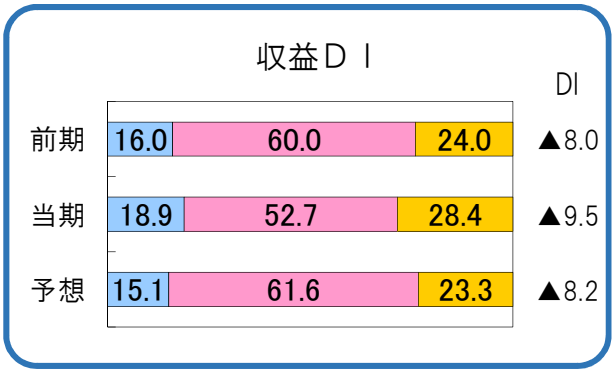
○売上ＤＩ

売上DIは、対前期比▲10.8ﾎﾟｲﾝﾄの▲10.8(前年同期▲2.7・前回予想との差▲5.5）と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比＋2.5ﾎﾟｲﾝﾄの▲8.3と改善を見込んでいます。

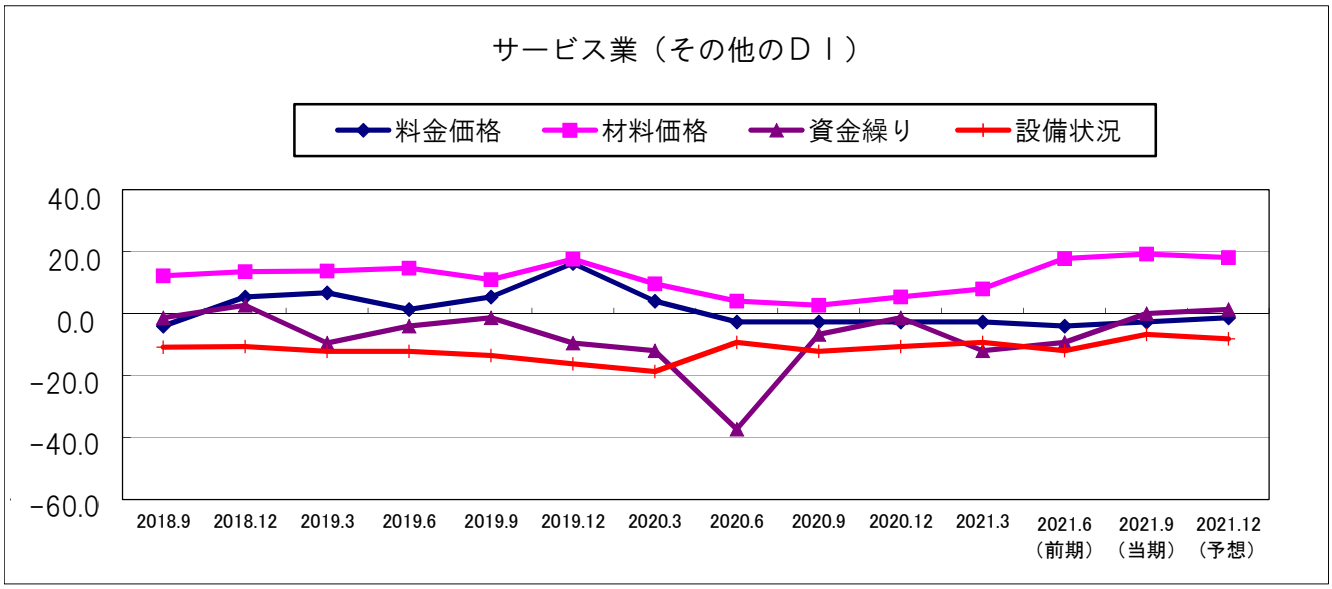


○収益ＤＩ

収益DIは、対前期比▲1.5ﾎﾟｲﾝﾄの▲9.5(前年同期▲4.1・前回予想との差▲2.8)の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比＋1.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲8.2と改善を見込んでいます。



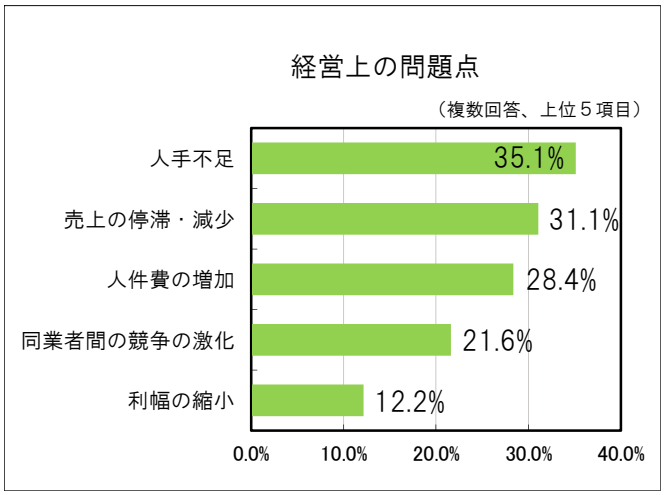
その他のＤＩ推移

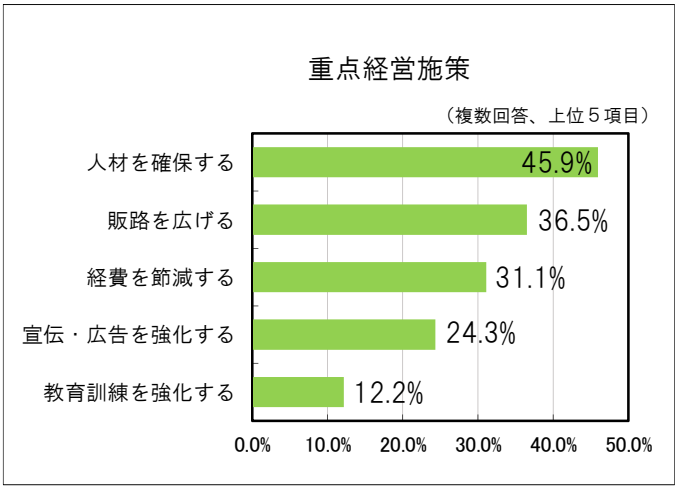


○その他のＤＩ

対前期比でみると、料金価格DIは＋1.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲2.7、材料価格DIは＋1.4ﾎﾟｲﾝﾄの19.2、資金繰りDIは＋9.3ﾎﾟｲﾝﾄの0.0、設備状況DIは＋5.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲6.7となりました。今後は料金価格DI・資金繰りDIについて上昇、材料価格DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策





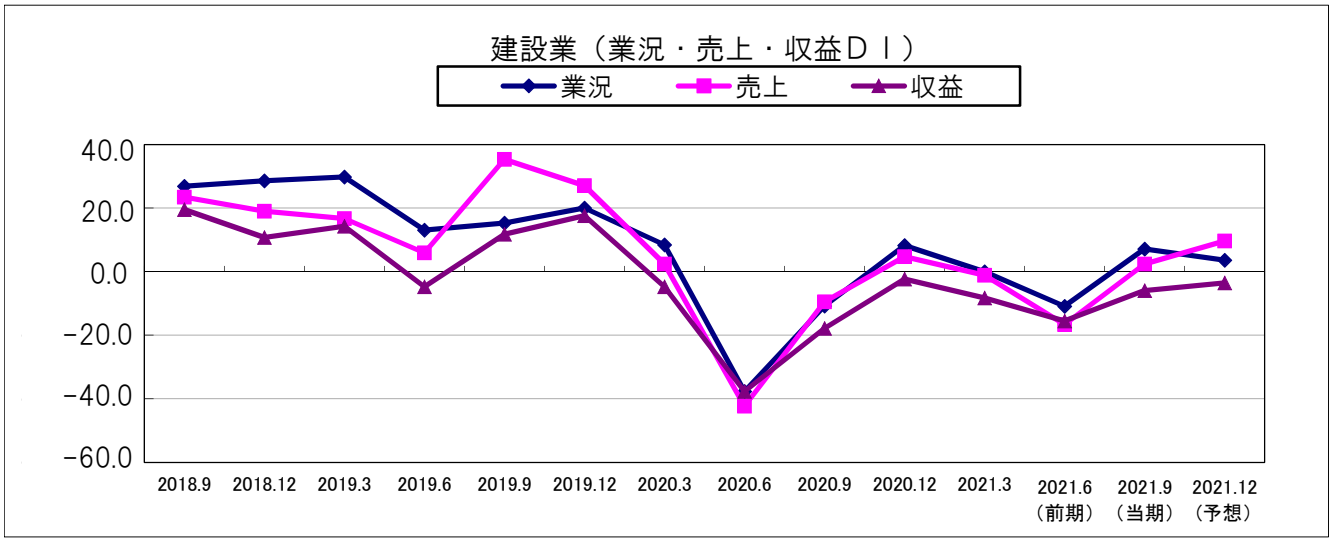
【経営課題】
経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が35.1%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」31.1%、「人件費の増加」28.4%、「同業者間の競争の激化」21.6%、「利幅の縮小」12.2%となりました。

【重点施策】
当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が45.9%と最も多く、次いで「販路を広げる」36.5%、「経費を節減する」31.1%、「宣伝・広告を強化する」24.3%、「教育訓練を強化する」12.2%となりました。

建設業

今期：業況・売上・収益ＤＩ共に改善
来期：売上・収益ＤＩは改善、業況ＤＩは悪化の見込み

主要ＤＩ推移



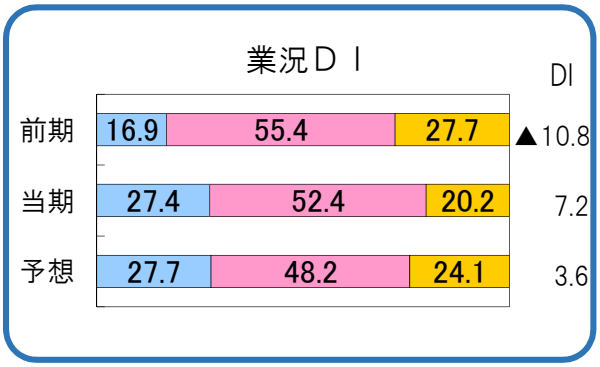
良い 増加　普通 変らず　悪い 減少

主要ＤＩ構成

○業況ＤＩ

当期 → 予想

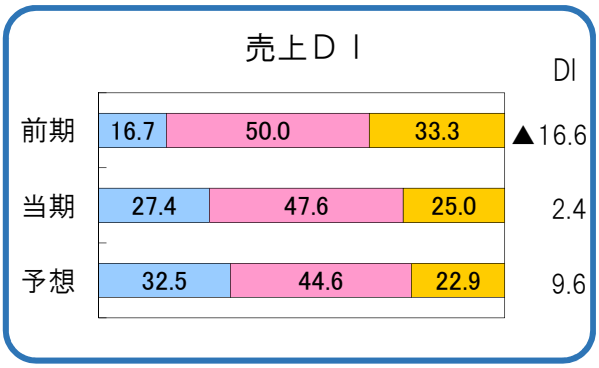
業況DIは、対前期比＋18.0ﾎﾟｲﾝﾄの7.2(前年同期▲10.8・前回予想との差＋19.4)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲3.6ﾎﾟｲﾝﾄの3.6と悪化を見込んでいます。



○売上ＤＩ

当期 → 予想

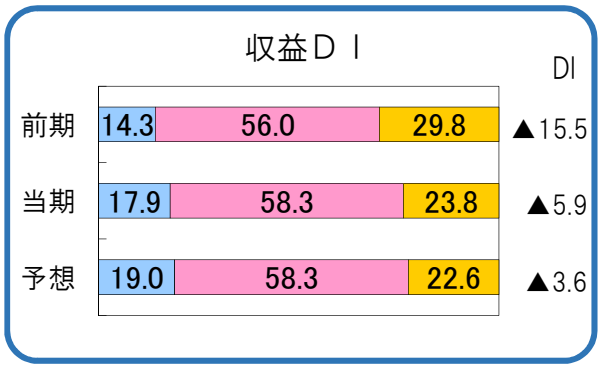
売上DIは、対前期比＋19.0ﾎﾟｲﾝﾄの2.4(前年同期▲9.5・前回予想との差＋6.0)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比＋7.2ﾎﾟｲﾝﾄの9.6と改善を見込んでいます。



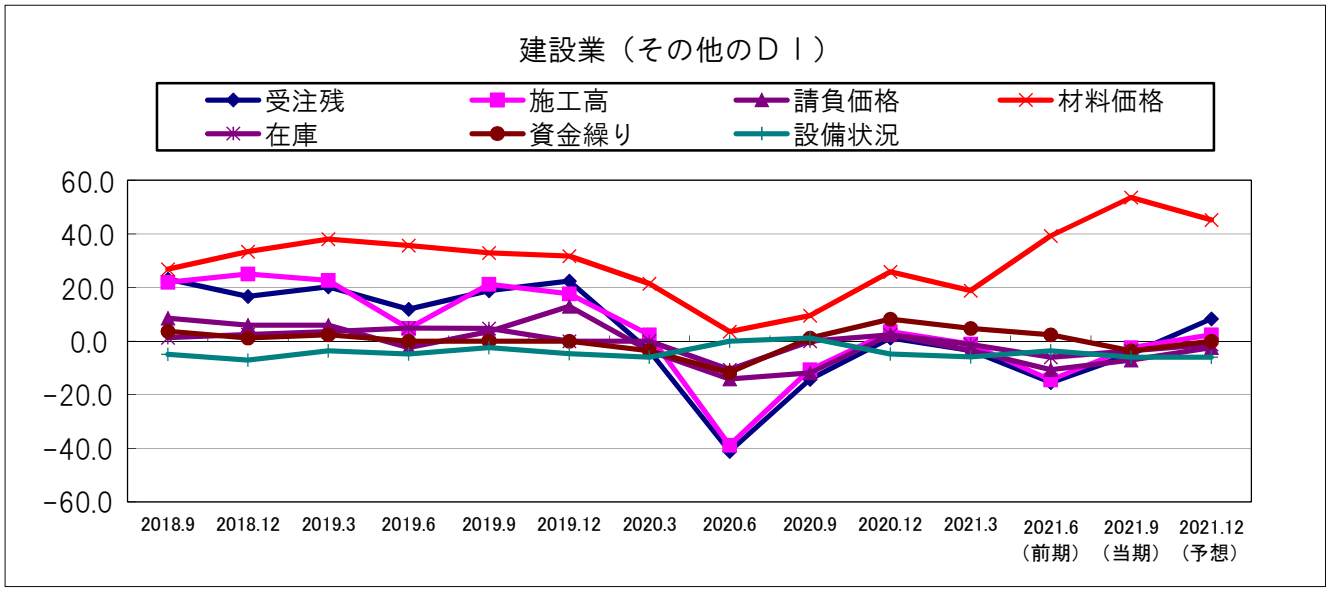
○収益ＤＩ

当期 → 予想

収益DIは、対前期比の＋9.6ﾎﾟｲﾝﾄの▲5.9(前年同期▲17.9・前回予想との差＋5.0）と3期ぶりの改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比＋2.3ﾎﾟｲﾝﾄの▲3.6と改善を見込んでいます。



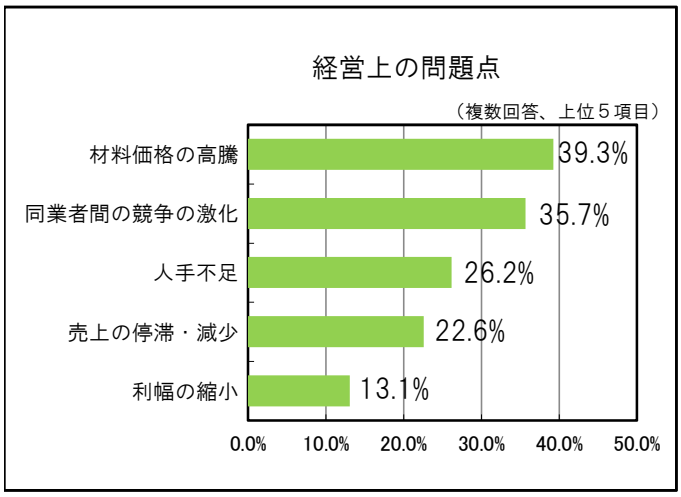
その他のＤＩ推移

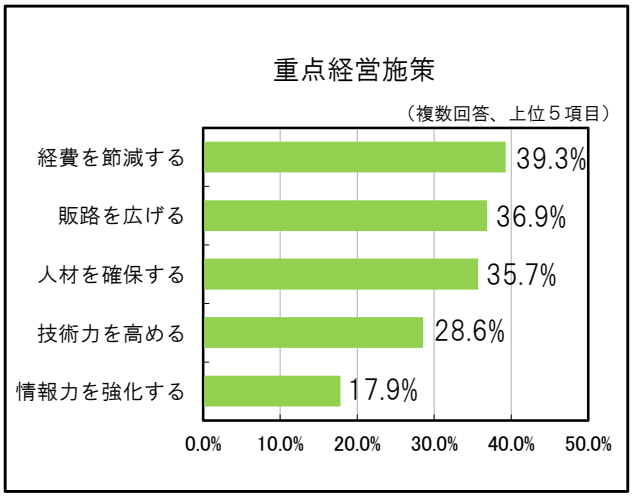


○その他のＤＩ

対前期比でみると、受注残DIは＋10.7ﾎﾟｲﾝﾄの▲4.8、施工高DIは＋12.1ﾎﾟｲﾝﾄの▲2.4、請負価格DIは＋3.6ﾎﾟｲﾝﾄの▲7.1、材料価格DIは＋14.3ﾎﾟｲﾝﾄの53.6、在庫DIは＋2.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲3.6、資金繰りDIは▲6.0ﾎﾟｲﾝﾄの▲3.6、設備状況DIは▲2.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲6.0となりました。今後は、受注残DI・施工高DI・請負価格DI・在庫DI・資金繰りDIは上昇、設備状況DIは横這い、材料価格DIは低下見込んでいます。

経営課題・重点施策





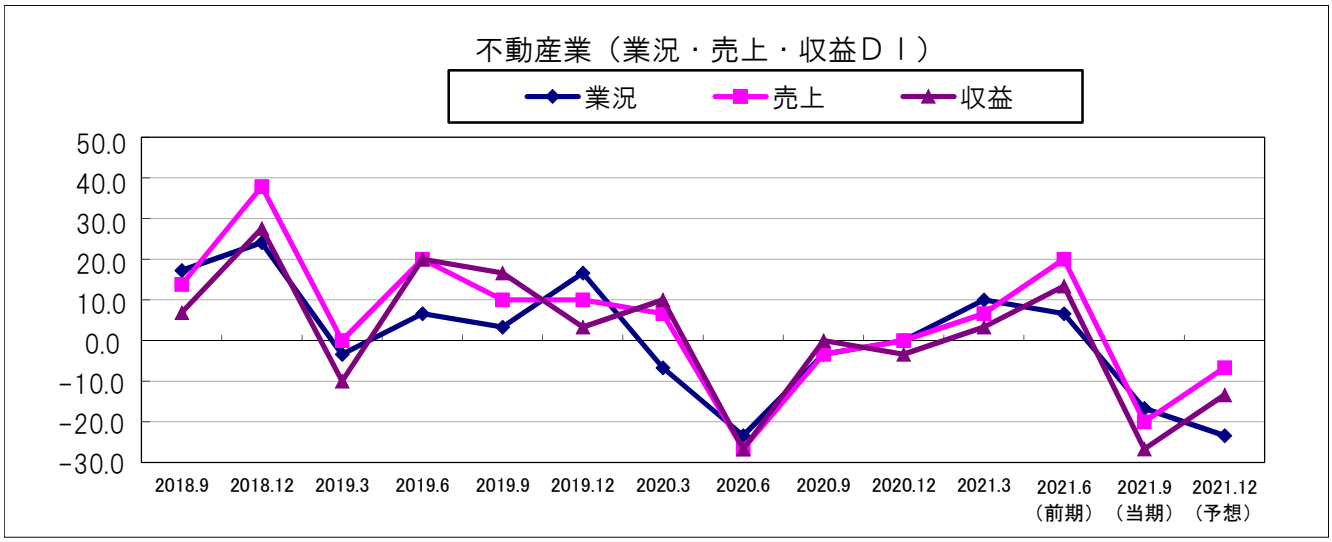
【経営課題】
経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の高騰」が39.3%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」35.7%、「人手不足」26.2%、「売上の停滞・減少」22.6%、「利幅の縮小」13.1%となりました。

【重点施策】
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が39.3%と最も多く、次いで「販路を広げる」36.9%、「人材を確保する」35.7%、「技術力を高める」28.6%、「情報力を強化する」17.9%となりました。

不動産業

今期：業況・売上・収益ＤＩ共に悪化
来期：売上・収益ＤＩは改善、業況ＤＩは悪化の見込み

主要ＤＩ推移



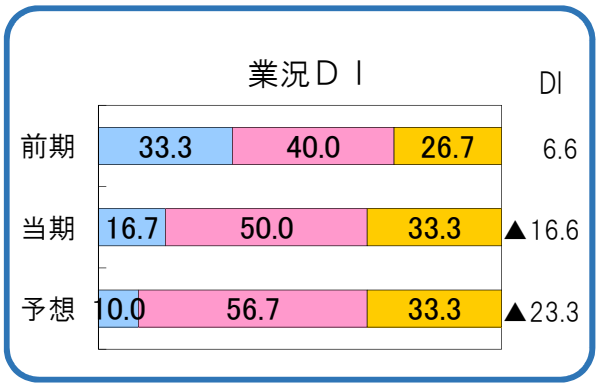
主要ＤＩ構成

良い 増加　普通 変らず　悪い 減少

○業況ＤＩ

当期 → 予想

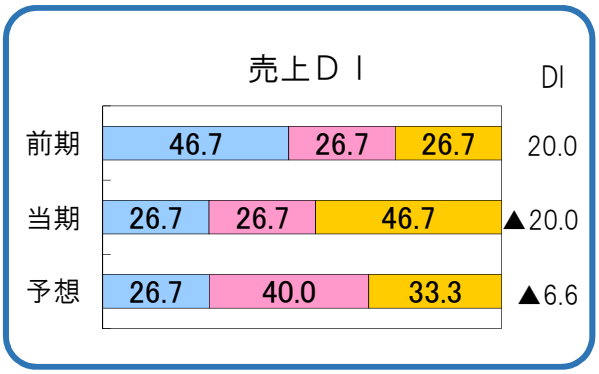
業況DIは、対前期比▲23.2ﾎﾟｲﾝﾄの▲16.6（前年同期▲3.3・前回予想との差＋0.1)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲6.7ﾎﾟｲﾝﾄの▲23.3と悪化を見込んでいます。



○売上ＤＩ

当期 → 予想

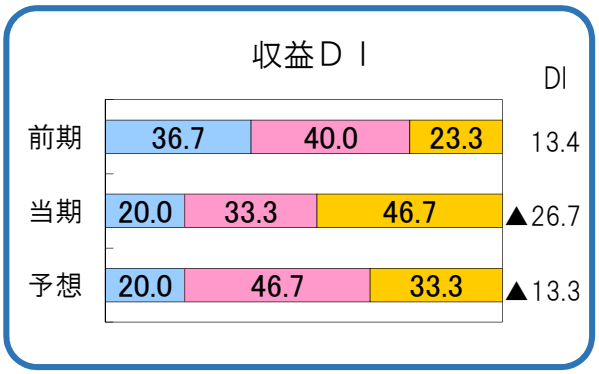
売上DIは、対前期比▲40.0ﾎﾟｲﾝﾄの▲20.0（前年同期▲3.3・前回予想との差±0.0)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比＋13.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲6.6と改善を見込んでいます。



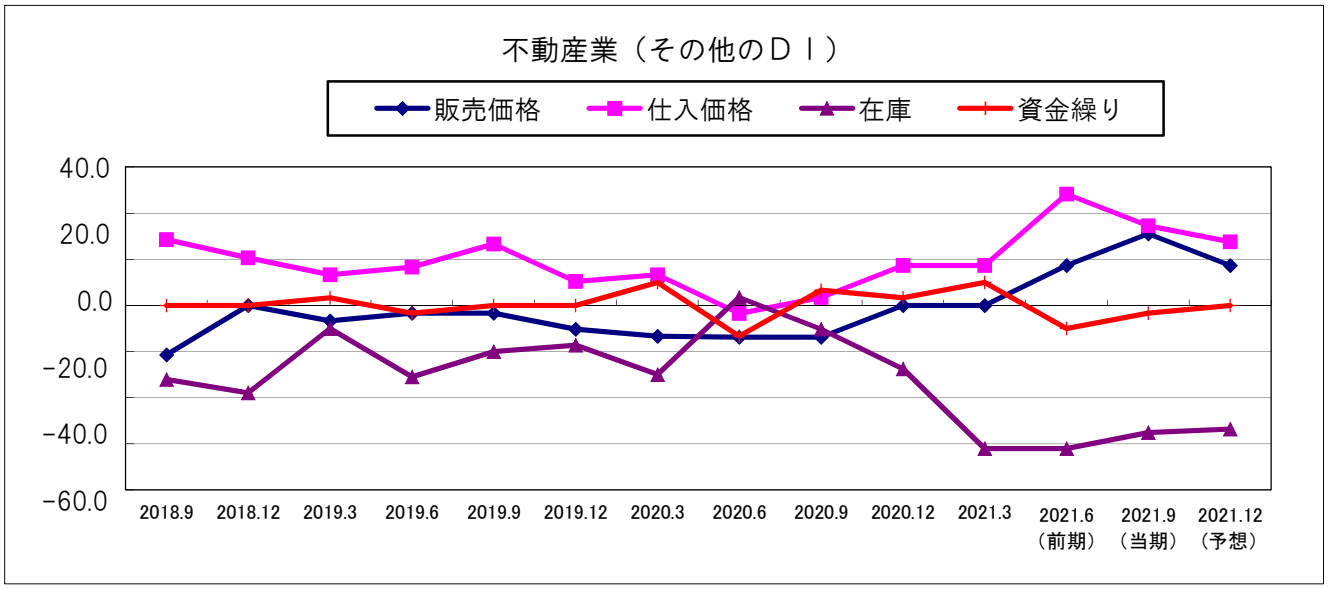
○収益ＤＩ

当期 → 予想

収益DIは、対前期比▲40.1ﾎﾟｲﾝﾄの▲26.7(前年同期0.0・前回予想との差▲10.0)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比＋13.4ﾎﾟｲﾝﾄの▲13.3と改善を見込んでいます。



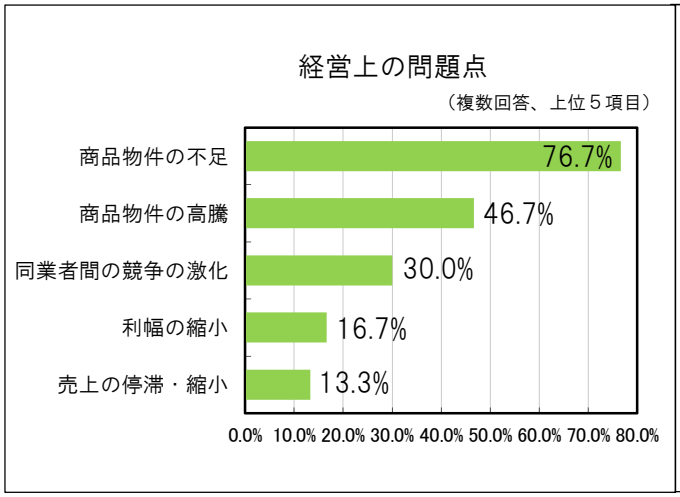
その他のＤＩ推移

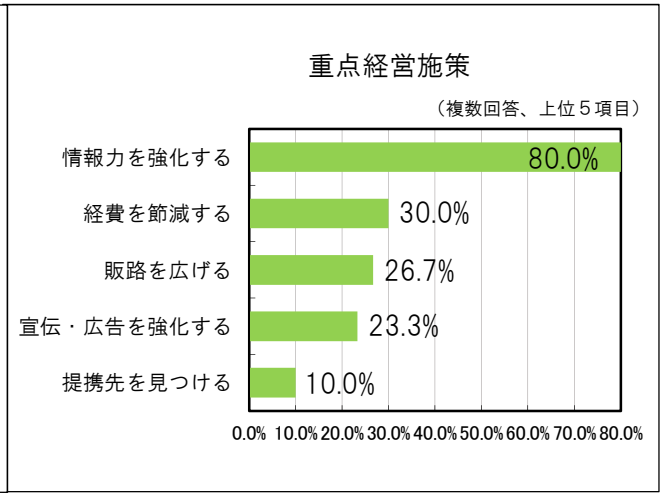


○その他のＤＩ

対前期比でみると、販売価格DIは＋13.8ﾎﾟｲﾝﾄの31.0、仕入価格DIは▲13.8ﾎﾟｲﾝﾄの34.5、在庫DIは＋6.9ﾎﾟｲﾝﾄの▲55.2、資金繰りDIは＋6.7ﾎﾟｲﾝﾄの▲3.3となりました。今後は、在庫DI・資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



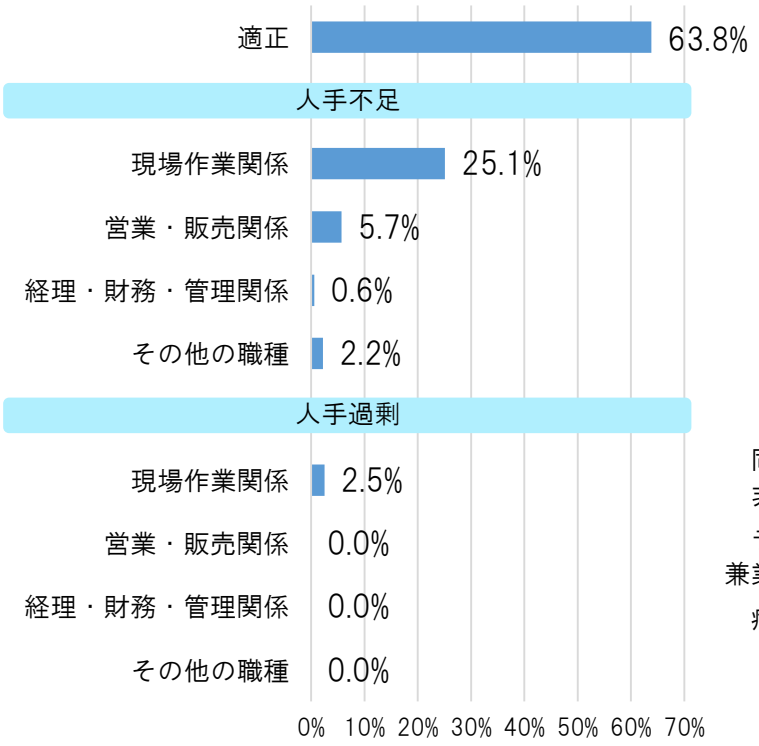


【経営課題】
経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が76.7%と最も多く、次いで「商品物件の高騰」46.7%、「同業者間の競争の激化」30.0%、「利幅の縮小」16.7%、「売上の停滞・縮小」13.3%となりました。

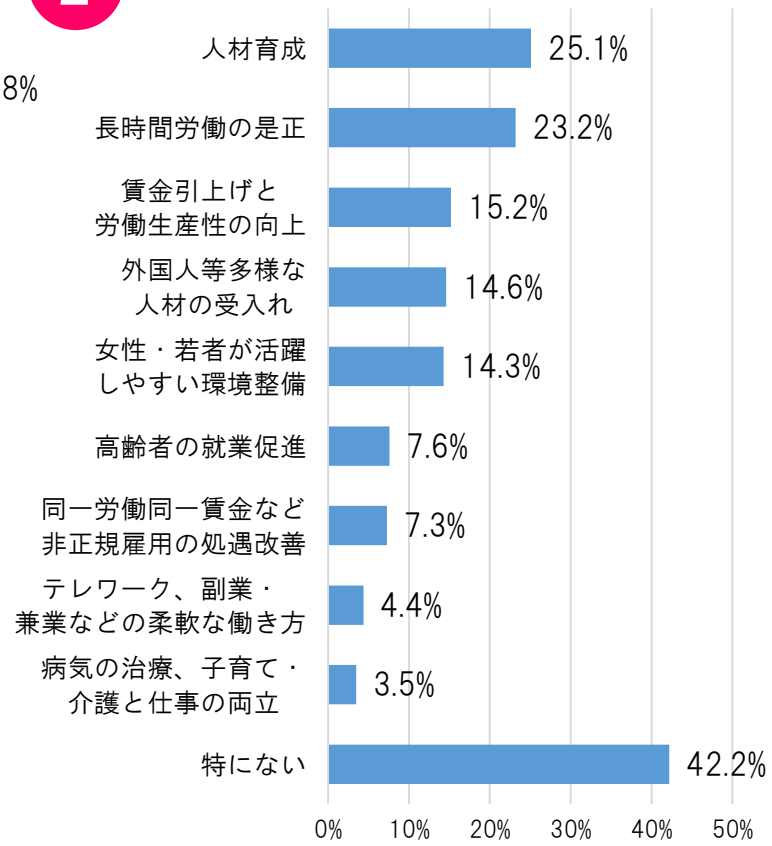
【重点施策】
当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が80.0%と最も多く、次いで「経費を節減する」30.0%、「販路を広げる」26.7%、「宣伝・広告を強化する」23.3%、「提携先を見つける」10.0%となりました。

特別調査　中小企業の雇用環境について

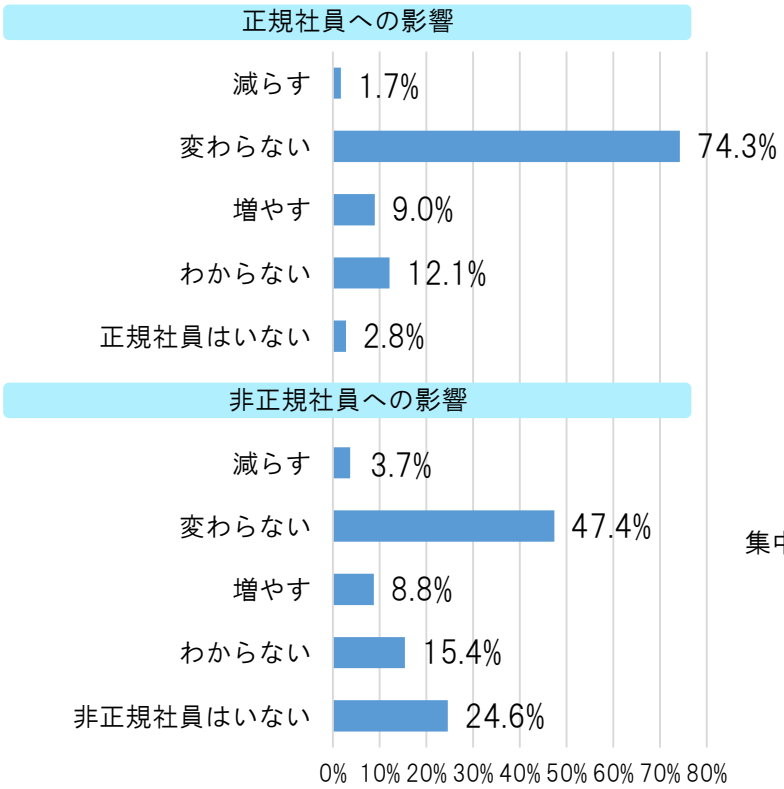
1 人手の状況をどのように認識していますか。（過不足がある職域を回答）



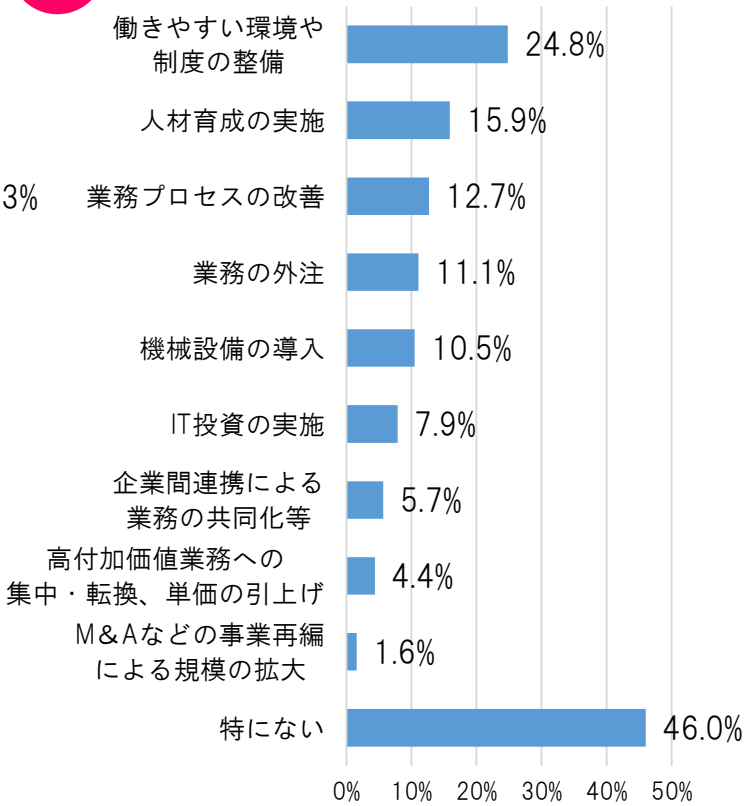
2 人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。（複数回答）



3 最低賃金の引き上げが、貴社の雇用に与える影響はありますか。（正規社員、非正規社員別）



4 人材確保が難しくなるなか、生産性向上に向けた取組みをしていますか。（複数回答）



平塚信用金庫　営業統括部
平塚市紅谷町１１―１９
（TEL０４６３－２４－３０３１）